

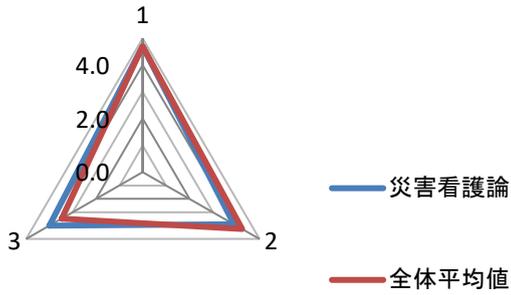
令和2年度第3学年前期「災害看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	52	59%

実施日(2020年7月18日～20日)

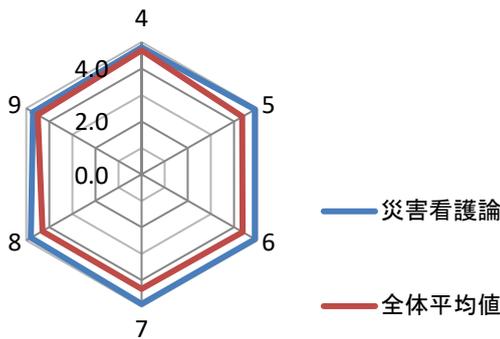
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	3.5	2.8	4.0

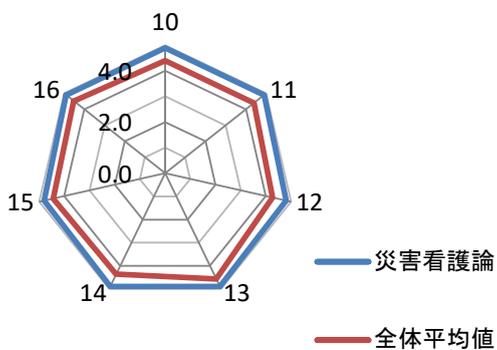
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.9	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.5	4.0	4.9

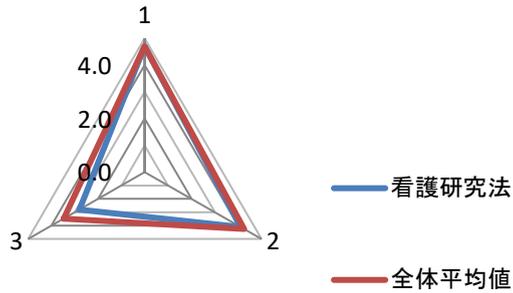
令和2年度第3学年前期「看護研究法」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	60	68%

実施日(2020年7月7日～9日)

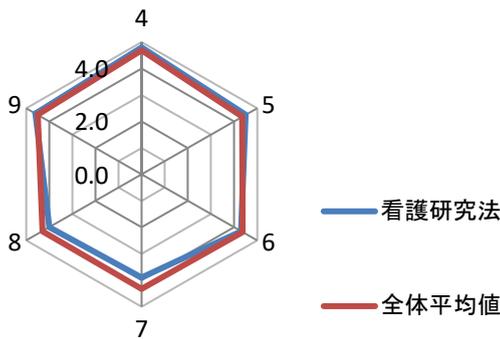
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護研究法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	2.8	3.5	2.8	4.0

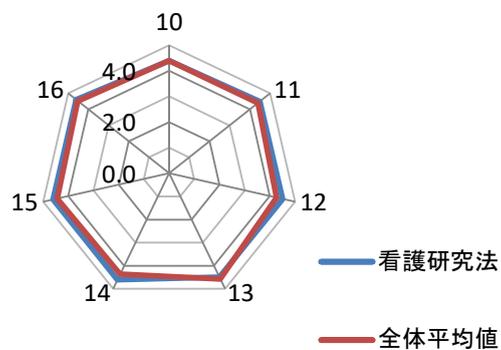
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護研究法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.3	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.9	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護研究法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.5	4.0	4.9

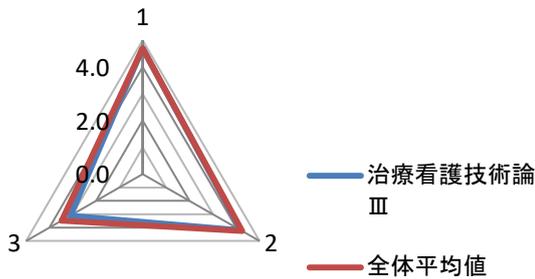
令和2年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	64	73%

実施日(2020年8月10日～12日)

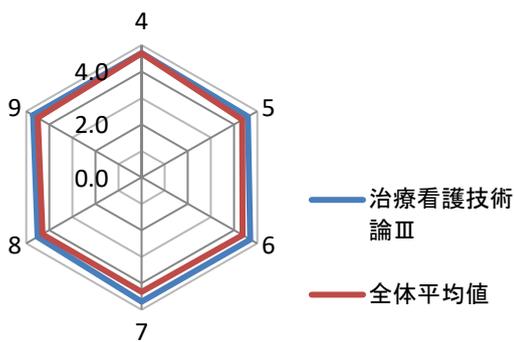
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.2	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.5	2.8	4.0

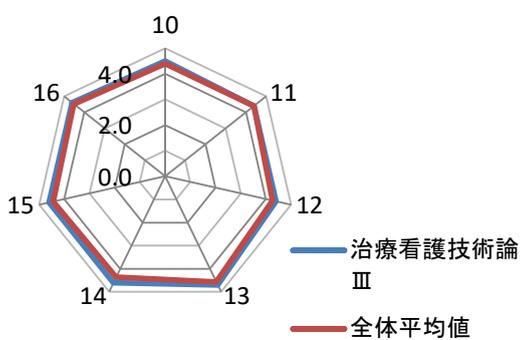
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.7	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.5	4.0	4.9

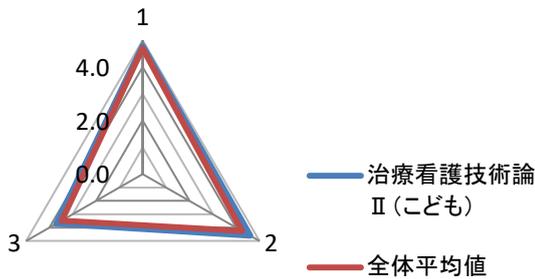
令和2年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅱ(こども)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	64	73%

実施日(2020年8月18日～23日)

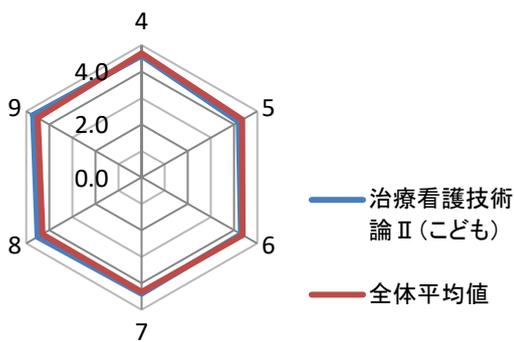
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅱ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.6	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.7	3.5	2.8	4.0

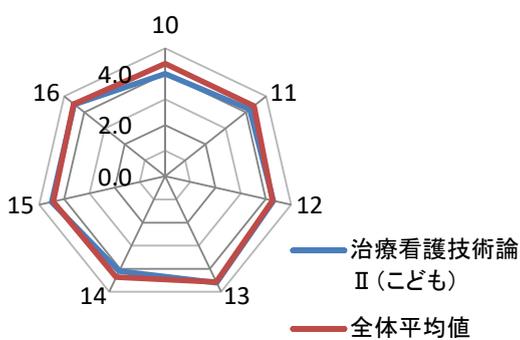
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅱ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.3	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅱ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.0	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.2	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.1	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.5	4.0	4.9

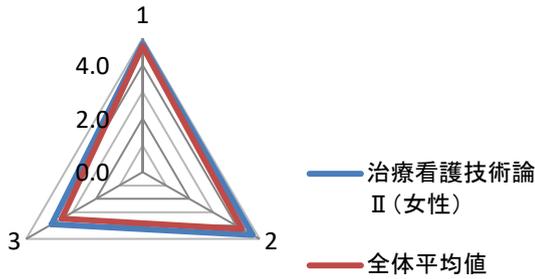
令和2年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅱ(女性)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
89	36	40%

実施日(2020年8月21日～23日)

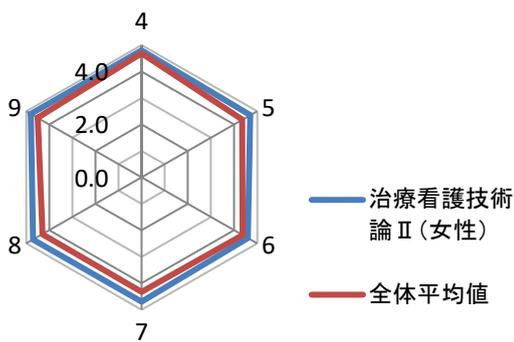
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅱ(女性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.9	3.5	2.8	4.0

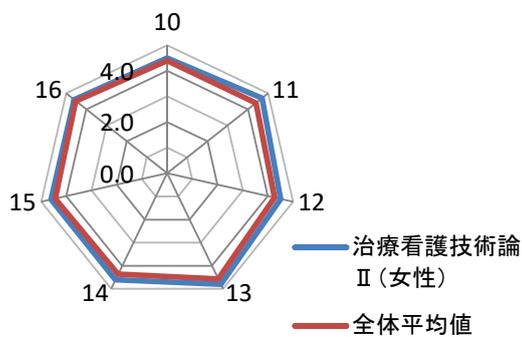
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅱ(女性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅱ(女性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.5	4.0	4.9

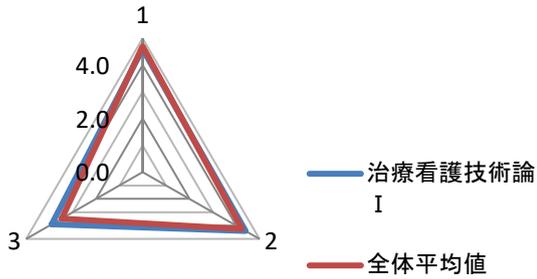
令和2年度第3学年前期「治療看護技術論 I (成人・老年)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	42	48%

実施日(2020年8月14日～16日)

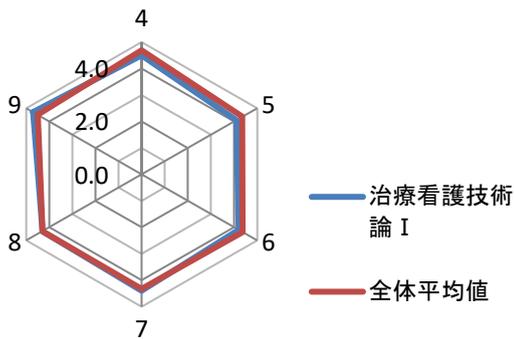
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	4.6	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.9	3.5	2.8	4.0

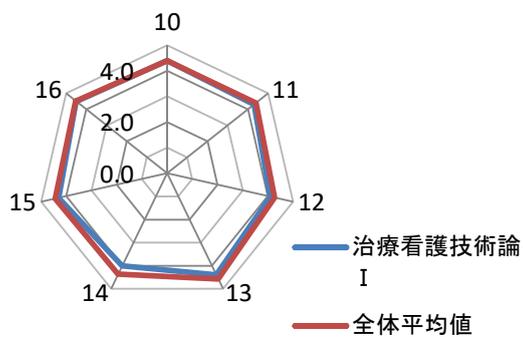
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.1	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.2	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.1	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.0	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.5	4.0	4.9

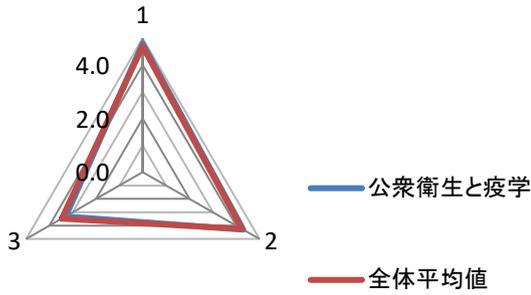
令和2年度第3学年前期「公衆衛生と疫学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	50	57%

実施日(2020年8月20日～22日)

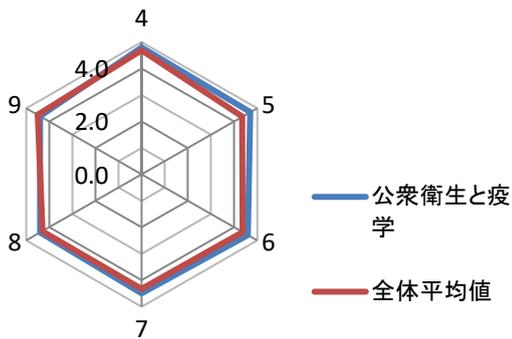
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.3	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.3	3.5	2.8	4.0

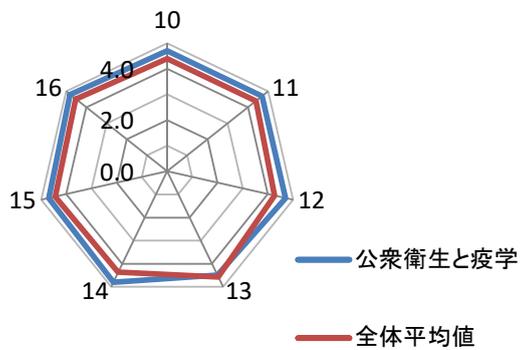
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.5	4.0	4.9

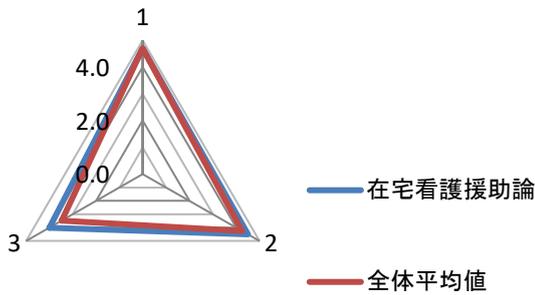
令和2年度第3学年前期「在宅看護援助論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	41	47%

実施日(2020年8月17日～19日)

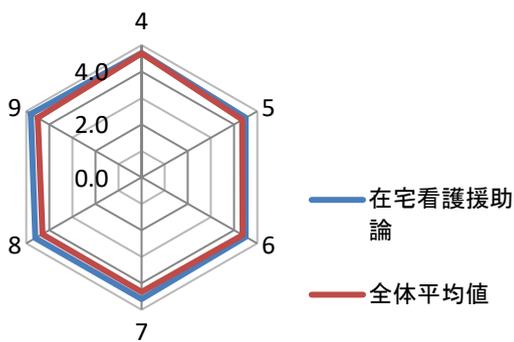
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	3.5	2.8	4.0

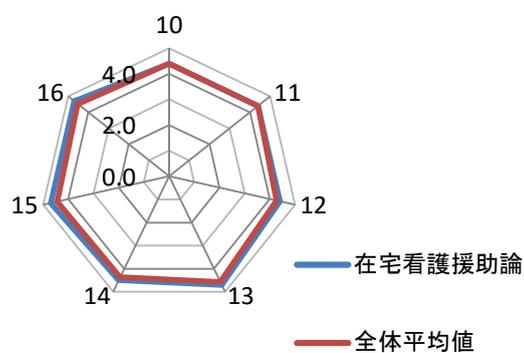
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.5	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.5	4.0	4.9

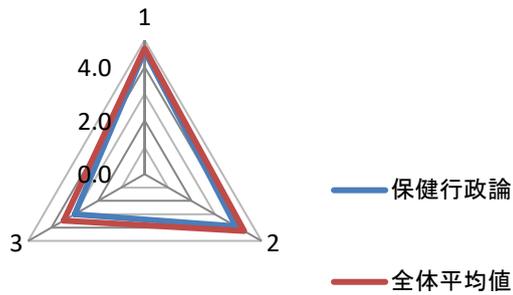
令和2年度第3学年前期「保健行政論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
19	11	58%

実施日(2020年8月21日～23日)

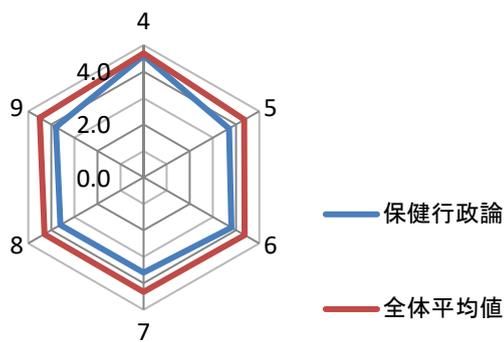
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	保健行政論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.0	3.5	2.8	4.0

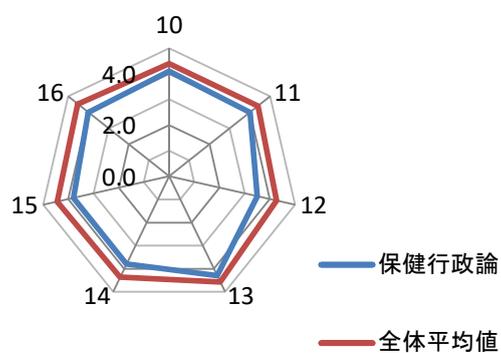
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	保健行政論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.7	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.8	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.6	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	3.6	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.8	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	保健行政論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.1	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.5	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.8	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.8	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.0	4.5	4.0	4.9

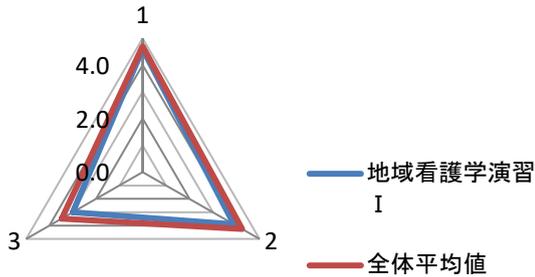
令和2年度第3学年前期「地域看護学演習 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
19	11	58%

実施日(2020年8月10日～12日)

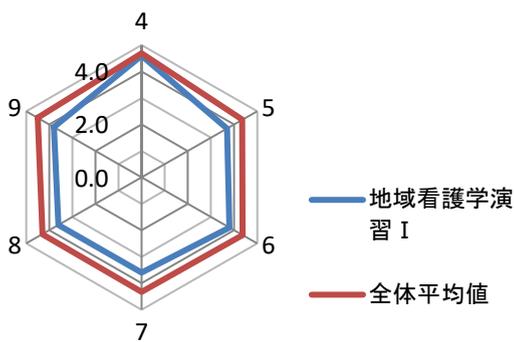
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学演習 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.6	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.3	3.9	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.0	3.5	2.8	4.0

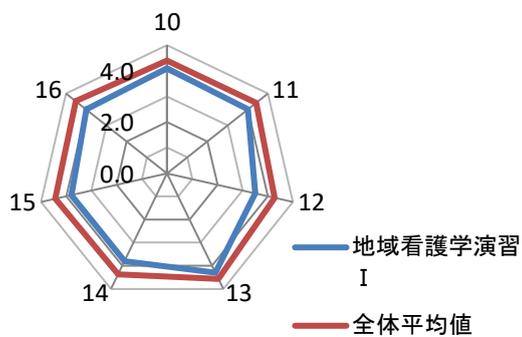
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	地域看護学演習 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.7	4.5	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.7	4.4	3.7	4.9
6 授業の内容はレベルが適切であった。	3.8	4.4	3.8	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.6	4.3	3.6	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	3.6	4.3	3.6	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.8	4.5	3.8	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学演習 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.1	4.4	4.0	4.9
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.4	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.5	4.3	3.5	4.8
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.6	4.3	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.8	4.4	3.8	4.9
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.8	4.4	3.8	4.8
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.0	4.5	4.0	4.9

令和2年度第3学年後期「看護展開実習ⅠA(成人)」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	66	75%

I. 学生自身の実習への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	58	7	1	0	0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	58	8	0	0	0
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	54	11	1	0	0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	54	11	0	1	0

II. 実習内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	47	18	0	0	0
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	47	19	0	0	0
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	39	25	2	0	0
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	28	23	11	4	0
9 看護への興味や関心が高まった。	51	13	2	0	0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	51	15	0	0	0

III. 指導体制・学習環境について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った。	58	8	0	0	0
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	58	7	1	0	0
13 教員と実習施設の連携が図られていた。	48	16	2	0	0
14 実習に必要な資料や情報が入手できた。	49	16	1	0	0
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた。	56	9	1	0	0
16 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	47	14	4	1	0

令和2年度第3学年後期「看護展開実習ⅠB(成人)」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	60	68%

I. 学生自身の実習への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	53	7	0	0	0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	53	7	0	0	0
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	54	5	1	0	0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	43	14	2	1	0

II. 実習内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	38	17	7	0	1
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	41	16	3	0	0
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	37	21	0	2	0
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	25	28	3	3	1
9 看護への興味や関心が高まった。	42	14	3	0	1
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	46	10	2	1	1

III. 指導体制・学習環境について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った。	29	24	4	2	1
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	34	17	5	2	2
13 教員と実習施設の連携が図られていた。	27	24	5	2	2
14 実習に必要な資料や情報が入手できた。	33	24	1	0	2
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた。	37	19	4	0	0
16 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	37	19	1	2	1

令和2年度第3学年後期「看護展開実習Ⅱ（老年）」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	52	59%

I. 学生自身の実習への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	47	5	0	0	0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	41	11	0	0	0
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	39	13	0	0	0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	33	14	5	0	0

II. 実習内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	37	15	0	0	1
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	35	16	1	0	0
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	35	13	4	0	0
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	18	13	15	5	1
9 看護への興味や関心が高まった。	28	19	5	0	0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	24	15	12	1	0

III. 指導体制・学習環境について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った。	34	17	1	0	0
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	40	10	2	0	0
13 教員と実習施設の連携が図られていた。	30	15	7	0	0
14 実習に必要な資料や情報が入手できた。	32	17	3	0	0
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた。	41	10	0	0	1
16 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	37	13	2	0	0

令和2年度第3学年後期「看護展開実習Ⅲ(こども)」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	56	64%

I. 学生自身の実習への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	47	8	1	0	0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	47	9	0	0	0
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	43	13	0	0	0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	48	8	0	0	0

II. 実習内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	33	22	1	0	0
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	32	21	2	1	0
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	33	21	2	0	0
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	25	22	9	0	0
9 看護への興味や関心が高まった。	36	18	1	1	0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	39	16	1	0	0

III. 指導体制・学習環境について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った。	36	18	2	0	0
12 教員と実習施設の連携が図られていた。	38	15	2	1	0
13 実習に必要な資料や情報が入手できた。	37	17	2	0	0
14 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	40	15	1	0	0
15-1 【実習施設における実習について】 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた。	42	13	0	1	0
15-2 【実習施設における実習について】 カンファレンスや学習の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	41	13	1	1	0

令和2年度第3学年後期「看護展開実習Ⅳ(母性)」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	58	66%

I. 学生自身の実習への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	51	7	0	0	0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	49	9	0	0	0
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	46	10	2	0	0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	50	7	1	0	0

II. 実習内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	42	16	0	0	0
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	36	19	3	0	0
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	38	18	2	0	0
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	24	25	8	1	0
9 看護への興味や関心が高まった。	50	6	1	1	0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	41	13	4	0	0

III. 指導体制・学習環境について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った。	48	9	1	0	0
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	47	11	0	0	0
13 教員と実習施設の連携が図られていた。	42	13	3	0	0
14 実習に必要な資料や情報が入手できた。	41	17	0	0	0
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた。	51	6	1	0	0
16 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	46	11	1	0	0

令和2年度第3学年後期「看護展開実習Ⅴ(精神)」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	59	67%

I. 学生自身の実習への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	54	5	0	0	0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	52	7	0	0	0
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	44	15	0	0	0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	47	12	0	0	0

II. 実習内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	49	10	0	0	0
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	37	20	2	0	0
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	37	22	0	0	0
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	46	12	0	1	0
9 看護への興味や関心が高まった。	51	6	2	0	0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた	44	14	1	0	0

III. 指導体制・学習環境について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った。	54	5	0	0	0
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	53	6	0	0	0
13 教員と実習施設の連携が図られていた。	42	14	2	1	0
14 実習に必要な資料や情報が入手できた。	42	15	2	0	0
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた。	50	8	0	1	0
16 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	45	14	0	0	0

令和2年度第3学年後期「看護展開実習Ⅵ(在宅)」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	50	57%

I. 学生自身の実習への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 体調管理を行い、実習に臨んだ。	47	3	0	0	0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	47	3	0	0	0
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	42	8	0	0	0
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	44	6	0	0	0

II. 実習内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	38	12	0	0	0
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	33	15	2	0	0
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	38	11	1	0	0
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	44	6	0	0	0
9 看護への興味や関心が高まった。	35	12	2	1	0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた。	30	15	5	0	0

III. 指導体制・学習環境について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った。	42	7	0	1	0
12 教員と実習施設の連携が図られていた。	38	7	5	0	0
13 実習に必要な資料や情報が入手できた。	32	11	6	1	0
14 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	41	7	1	1	0
15 【学内シミュレーションを実施した場合】教員は「学内シミュレーション」の円滑な進行に配慮していた。	36	12	0	0	1
16-1 【オンライン(Zoomなど)を使用した場合】教員は「オンライン(Zoomなど)」の円滑な進行に配慮していた。	42	5	2	1	0
16-2 【オンライン(Zoomなど)を使用した場合】実習指導者からの「オンライン(Zoomなど)」による指導は学習を進めるうえで役立った。	40	8	1	1	0
17 【e自主自学を使用した場合】「e自主自学」は、学生に分かりやすく適切に活用されていた。	38	11	1	0	0

令和2年度第3学年後期「コーチングの基礎」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	33	38%

I. 学生自身の授業への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	24	9	0	0	0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	21	12	0	0	0
3 授業内容について教員に質問した。	20	5	6	1	1

II. 授業内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
4 シラバスに沿って、授業が進められた。	25	8	0	0	0
5 授業の内容は分かりやすかった。	21	12	0	0	0
6 授業内容はレベルが適当であった。	24	8	1	0	0
7 授業内容に興味を持てた。	19	13	1	0	0
8 知的好奇心が刺激された。	19	11	3	0	0
9 自分で考えたり学んだりする機会になった。	24	7	2	0	0

III. 教員の授業に対する姿勢および授業方法について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	26	7	0	0	0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	22	11	0	0	0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	24	9	0	0	0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	21	10	2	0	0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切で	25	8	0	0	0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び	18	10	1	0	0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配	20	9	0	0	0

IV. 授業時間について

	ほとんどなかった	全くなかった
17 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。	3	30

	通信が途切れた
18 問17で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)	1

	ときどきあった	ほとんどなかった	全くなかった
19 問19は、ライブ型(Zoom)授業を受講した場合に回答してください ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。	1	3	26

	途中参加の学生がいた	通信が途切れた
20 問20は、ライブ型(Zoom)授業を受講した場合に回答してください 質問19で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)	1	1

	いつもあった	全くなかった
21 * 問21は、対面授業を受講した場合に回答してください 対面授業で、授業開始・終了時間を守られていた。	6	3

令和2年度第3学年後期「災害看護論演習」授業評価結果

履修者数	回答者数	回答率
88	33	38%

I. 学生自身の授業への取り組みについて

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	23	9	0	0	0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	18	13	1	0	0
3 授業内容について教員に質問した。	15	5	5	4	3

II. 授業内容について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
4 シラバスに沿って、授業が進められた。	23	9	0	0	0
5 授業の内容は分かりやすかった。	23	9	0	0	0
6 授業内容はレベルが適当であった。	25	7	0	0	0
7 授業内容に興味を持てた。	23	8	1	0	0
8 知的好奇心が刺激された。	22	9	1	0	0
9 自分で考えたり学んだりする機会になった。	26	6	0	0	0

III. 教員の授業に対する姿勢および授業方法について

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	25	7	0	0	0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	25	7	0	0	0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	18	14	0	0	0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	20	11	1	0	0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切で	15	14	2	1	0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び	20	12	0	0	0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配	24	8	0	0	0

IV. 授業時間について

	ときどきあった	ほとんどなかった	全くなかった
17 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。	1	4	27

	配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた
18 問17で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)	1

	ときどきあった	ほとんどなかった	全くなかった
19 問19は、ライブ型(Zoom)授業を受講した場合に回答してください ライブ型(Zoom)授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。	0	4	24

	途中参加の学生がいた	通信が途切れた
20 問20は、ライブ型(Zoom)授業を受講した場合に回答してください 質問19で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)	0	0

	いつもあった	ほとんどなかった	全くなかった
21 * 問21は、対面授業を受講した場合に回答してください 対面授業で、授業開始・終了時間を守られていた。	18	3	8